

2012年11月20日

戸田建設「土木の日」技術研究所見学会を開催

戸田建設(株)(社長:井上舜三)は、11月18日の「土木の日」にちなみ、11月16日(金)に(財)土木学会関東支部との共催で、つくば市立沼崎小学校5年生の児童97名を技術研究所(茨城県つくば市)に招き見学会を開催しました。

見学会冒頭の挨拶では、土木工事技術部技術管理課長河野より「土木は道路、上下水道、鉄道線路をはじめとした身近なところで関わりがあり皆さんの生活を支えている」と土木の役割や魅力を紹介しました。

施設見学では「液状化現象の実験」・「(シールド工事の充てん用)裏込材の混合実験」・「コンクリートの圧縮強度試験」・「音響施設(残響室と無響室)」を児童たちに見学してもらいました。

「液状化現象の実験」では、地震で家が傾いたり、マンホールが浮き上がる被害の原因について理解を深めました。「裏込材の混合実験」では、液体がゲル化する実験を体験してもらいました。「コンクリートの圧縮強度試験」では、高強度コンクリートが破壊する時の大きな音にびっくりし、多くの児童が実験で壊れたコンクリート片をお土産に持ち帰っていました。「音響施設(残響室と無響室)」は、国内のゼネコンが持つ同様の施設としては最大級の室内で、大声を出しても音が吸収されてしまう不思議さを身をもって体験してもらいました。

戸田建設は、子どもたちに「土木」の魅力を知り、関心を持ってもらうため、今後もこのような機会に「土木」と市民生活との深い関わり合いについて伝えていきます。



写真1 「液体のゲル化」を体験



写真2 無響室での説明